



2020年7月31日

各位

上場会社名 株式会社 I G ポート
 代表者 代表取締役社長 石川光久
 (コード番号 3791)
 問合せ先責任者 管理担当執行役員 栗本典博
 (TEL 0422-53-0257)

(訂正) 「業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」の一部訂正について

2020年7月10日に公表いたしました「業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」の一部に訂正すべき事項が判明いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

訂正理由につきましては、別途、本日2020年7月31日付「(訂正・数値データ訂正)「2020年5月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正の内容

2020年5月期通期連結業績予想数値との差異(2019年6月1日～2020年5月31日)

〈訂正後〉

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,839	221	220	138	28.17
実績値(B)	9,062	282	222	△22	△4.65
増減額(B-A)	△1,776	61	1	△161	
増減率(%)	△16.4	27.6	0.9	—	
(ご参考)前期実績(2019年5月期)	8,872	△307	△307	△179	△36.61

(百万円未満切捨て)

差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために映像制作を中断したことなどが影響し、複数における映像制作物の納品が来期に延期となり、さらに出資を伴う受託制作取引の一部について売上計上を見直したことにより、当初予想を下回りました。

利益面につきましては、上記の減収要因に対して著作権事業が好調に推移したことにより、営業利益、経常利益ともにほぼ計画通りの結果となりましたが、第4四半期会計期間より減価償却を開始した戦略作品の映像マスターの一部減価償却費、受注損失引当金等が税務上損金として認められないため、税金費用が増加した影響で親会社株主に帰属する当期純損失を計上する結果となりました。

<訂正前>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,839	221	220	138	28.17
実績値(B)	<u>9,446</u>	<u>351</u>	<u>291</u>	<u>20</u>	<u>4.21</u>
増減額(B-A)	<u>△1,392</u>	<u>129</u>	<u>70</u>	<u>△117</u>	
増減率(%)	<u>△12.8</u>	<u>58.4</u>	<u>31.8</u>	<u>△85.1</u>	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	8,872	△307	△307	△179	△36.61

(百万円未満切捨て)

差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために映像制作を中断したことなどが影響し、複数における映像制作物の納品が来期に延期となり、当初予想を下回りました。

利益面につきましては、著作権事業が好調に推移したことにより、営業利益、経常利益ともに計画を上回りましたが、第4四半期会計期間より減価償却を開始した戦略作品の映像マスターの一部減価償却費、受注損失引当金等が税務上損金として認められないため、税金費用が増加した影響で親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を下回る結果となりました。

以 上